

新青丸研究航海報告

- * 航海番号 KS-21-5次研究航海

- * 航海名称 (和文) 洋上無人機との協働による
 日本海溝および千島海溝南部の総合観測研究
 (英文) Comprehensive research in the Japan and southern
 Kuril Trenches by join observations with a waveglider

- * 観測海域 (和文) 十勝沖・根室沖
 (英文) off Tokachi and off Nemuro

- * 航海期間 令和 3年 4月 2日 (金) ~令和 3年 4月 9日 (金)

- * 出港日時・場所 4月2日 14時 横須賀港

- * 入港日時・場所 4月9日 10時 函館港

- * 寄港期間・場所 なし

- * 研究課題 洋上無人機との協働による日本海溝および千島海溝南部の総合観測研究

- * 主席研究員 (氏名・所属・職名・e-mail アドレス ◎は@)
 太田雄策・東北大学大学院理学研究科・准教授・yusaku. ohta. d2@tohoku. ac. jp

- * 研究内容, 主調査者 (e-mail アドレス), 観測項目
 1. GNSS-音響結合織海底地殻変動 (GNSS-A) 観測 (木戸元之 kido@irides. tohoku. ac. jp)
根室沖既設の GNSS-A 観測点 G21, G22, G23において船底トランスデューサー (船底 TR) を用いた GNSS-A 観測を実施した。G22では実施内容(3)で示す Wave Glider との同時観測を実施することでより高精度な地殻変動データの取得を目指した。

 2. Wave Glider を用いた GNSS-A 観測 (富田史章 fumiaki. tomita. d8@tohoku. ac. jp)
海洋研究開発機構が所有する Wave Glider SV3を用いた GNSS-A 観測の自動・自律的实施を目的とした観測を既存の GNSS-A 観測点で実施した。G22観測点において GNSS-A 観測用機材を装備した Wave Glider SV3を投入し、GNSS-A 観測を実施した。

3. 海底間音響測距装置の入れ替え設置 (太田雄策 yusaku. ohta. d2@tohoku. ac. jp)

根室沖において海底間音響測距装置3台 (N-ADM1, N-ADM2, N-ADM3)の回収およびN-ADM1, N-ADM2の入れ替え設置を目指した作業を実施した。既設3台の機材回収は成功したが、入れ替え設置時に予期せぬ機材の錘切り離しが発生したため、機材の再設置は断念した。

4. サブボトムプロファイラーによる浅部地層構造調査

(太田雄策 yusaku. ohta. d2@tohoku. ac. jp)

サブボトムプロファイラーによってピストンコアラー候補点周辺の地層の発達を調査し、今後の航海における最適な採泥点の選定を行った。4本の測線で調査を実施した。

5. 深海設置機材に付着した深海生物サンプリング

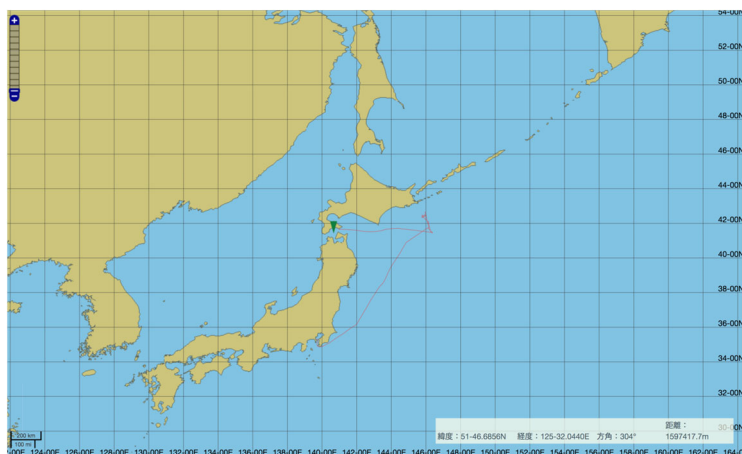
(松本亜沙子 amatsu@perc. it-chiba. ac. jp)

3で実施した深海底より回収した機材に付着している深海生物のサンプリングを行った。

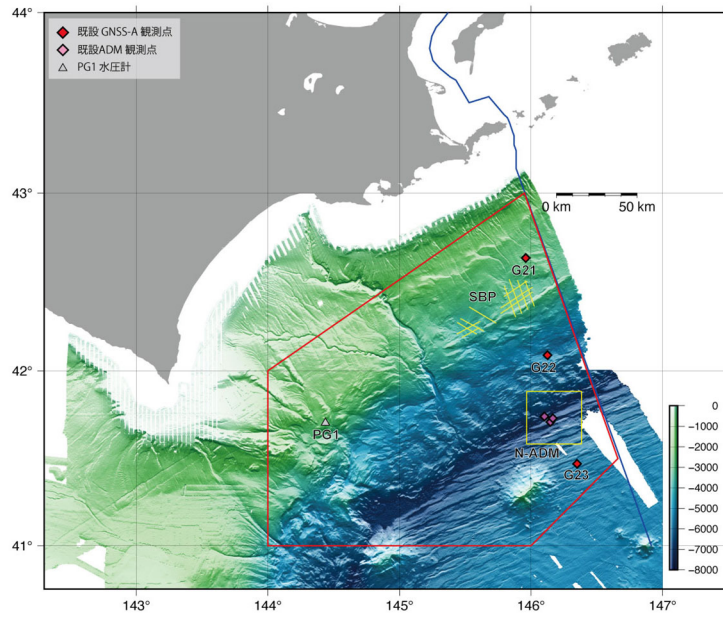
* 乗船研究者氏名・所属・職名

太田雄策・東北大学大学院理学研究科・准教授
木戸元之・東北大学災害科学国際研究所・教授
鈴木秀市・東北大学大学院理学研究科・技術専門職員
後藤博文・東北大学大学院理学研究科・大学院生
西村 建・東北大学大学院理学研究科・大学院生
山田太介・東北大学大学院理学研究科・大学院生
富田史章・海洋研究開発機構・ポストドクトラル研究員
高橋浩晃・北海道大学・理学研究院・教授
石田優香・北海道大学・理学研究院・大学院生
松本亜沙子・千葉工業大学・研究員

* 航跡・測点図



航跡図



観測点配置図